本書の構成

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくための留意事項や、本書の表記について説明しています。必ずお読みください。

第 1 章　ご購入後の操作

お買い求めいただいたパソコンを使えるようにするための操作を説明しています。必ず本書の手順に従って操作してください。

第 2 章　快適にお使いいただくために

コンピュータウイルスや、画面の設定方法などについて説明しています。

第 3 章　リカバリと再インストール

本パソコンをご購入時の状態に戻す「リカバリ」とソフトウェアの「再インストール」について説明しています。

第 4 章　困ったときに

おかしいなと思ったときや、わからないことがあったときの対処方法について説明しています。

目次

本書をお読みになる前に 4

本書の表記 4

第 1 章　ご購入後の操作

1 セットアップ 8

Windows セットアップ 8

ネットワークの設定 10

ユーザー登録について 10

リカバリ CD-ROM 起動ディスクを準備する
（CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合） 11

ドライバのバックアップ 12

2 プレインストール仕様の確認 14

ソフトウェアー覧 14

デバイス一覧 16

ドライブ構成 17

3 インストール／アンインストール 19

添付ソフトのインストール 19

アンインストール 21

第 2 章　快適にお使いいただくために

1 コンピュータウイルス対策 24

VirusScan 24

コンピュータウイルスを発見した場合 25

コンピュータウイルスの被害届け 25

2 画面を設定する 26

解像度と色数について 26

3 仮想メモリを設定する 28

4 ファイルシステムを変換する 29

第 3 章　リカバリと再インストール

1 リカバリ概要 32
リカバリの概要 32
リカバリの手順 32
留意事項 33
2 リカバリ操作 34
リカバリ前の準備 34
リカバリ方法（ご購入時の状態に戻す） 34
リカバリ方法（領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す） 36
リカバリ終了後 38
3 ソフトウェアの再インストール 39
操作に必要なもの 39
ドライバの再インストール 40
プレインストールソフトの再インストール 42

第 4 章　困ったときに

1 こんなときには 46
トラブル発生時の参照先 46
トラブルシューティング 46
2 それでも解決できないときは 52
お問い合わせ一覧 53
お問い合わせ前の確認シート 54
3 その他の留意事項 55

索引 63

本書をお読みになる前に

本書の表記

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	ハードウェアやソフトウェアを正しく動作させるために必要なことが書いてあります。必ずお読みください。
▶	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■ キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「＋」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど

■ コマンド入力（キー入力）

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

```
diskcopy  a:  a:
          ↑   ↑
```

- ↑の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キーを 1 回押してください。
- コマンド入力を英小文字で表記していますが、英大文字で入力してもかまいません。
- CD-ROM ドライブのドライブ名を、［CD-ROM ドライブ］と表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

  ［CD-ROM ドライブ］:¥setup.exe

■ 画面例

本書に記載されている画面は一例です。実際に表示されるウィンドウやファイル名などとは異なる場合があります。ご了承ください。

■ 連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

■ BIOS セットアップの表記

本文中の BIOS セットアップの設定手順において、各メニューやサブメニューまたは項目を、「−」（ハイフン）でつなげて記述する場合があります。

例：「メイン」メニューの「フロッピーディスク A」の項目を「使用しない」に設定します。

↓

「メイン」−「フロッピーディスク A」：使用しない

■ CD-ROM ドライブ

CD-ROM ドライブが搭載されていないモデルの場合、各ドライブが必要な操作では、別売の周辺機器を用意してください。使用できる周辺機器については、『システム構成図』をご覧ください。

周辺機器の使用方法については周辺機器のマニュアルをご覧ください。

■ お問い合わせ先／ URL

本文中に記載されているお問い合わせ先や WWW の URL は 2001 年 4 月現在のものです。変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」へお問い合わせください（••▶『修理サービス網一覧表』参照）。

■ 製品の呼びかた

本書に記載されている製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本書での表記	
Microsoft® Windows® Millennium Edition	Windows Me	Windows
Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION	Windows 98	
Microsoft® Windows® 95 operating system	Windows 95	
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000	
Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0	Windows NT	
Microsoft® MS-DOS® operating system	MS-DOS	
VirusScan V4.5.0 with SP1	VirusScan	
Adobe® Acrobat® Reader 4.05	Acrobat Reader	
FMPBTN V1.0	FMPBTN	
ドライバーズ CD ／マニュアル CD	ドライバーズ CD	

■ 機種名表記

本文中の機種名表記は、次のようになっています。機種名を確認してください。

機種名	本文中の表記	
FMV-717GTX7	〔TX7〕	本パソコン パソコン本体
FMV-611GSL7e/610GSL7e	〔SL7e〕	
FMV-610GSL7/6866SL7/6766SL7c	〔SL7〕	
FMV-610GCL7/6866CL7/6766CL7c	〔CL7〕	
FMV-6750CL7s	〔CL7s〕	
FMV-6766ML7c	〔ML7〕	
FMV-6866CX7/6766CX7c	〔CX7〕	

モデル	本文中の表記
IDE-RAID 搭載	IDE-RAID モデル

Microsoft、Windows、MS、MS-DOS、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
VirusScan は、米国 Network Associates 社及び関連会社の商標又は登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 2001
画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

第 1 章

ご購入後の操作

お買い求めいただいたパソコンを使えるようにするための操作を説明しています。必ず本書の手順に従って操作してください。

1 セットアップ 8
2 プレインストール仕様の確認 14
3 インストール／アンインストール 19

1 セットアップ

初めて電源を入れたあとに行う Windows の初期設定（Windows セットアップ）について説明します。必ず、本書の手順に従って操作してください。

Windows セットアップ

次の「留意事項」をよくお読みになり、電源を入れて Windows セットアップを始めます。

■ 留意事項

- 本パソコンの電源を入れる前に、ディスプレイなどの接続を確認してください。
- Windows セットアップを行う前に、周辺機器を取り付けないでください（カスタムメイドオプションを除く）。
  正しくセットアップされないことがあります。
- Windowsセットアップを行う前にメモリを増設しないでください。正しくセットアップされないことがあります。
- Windowsセットアップが完了するまで、PC カードを PC カードスロットにセットしないでください。正しくセットアップされないことがあります〔CX7〕。
- セットアップが終了するまで、LAN ケーブルを接続しないでください。LAN ケーブルを接続してセットアップを行うと、エラーメッセージが表示される場合があります。
- セットアップ中に「DHCP クライアントは IP アドレスを取得できませんでした。」または「DHCP クライアントは IP アドレスのリース書き換えを行えませんでした。」というメッセージが表示されることがあります。この場合は「はい」をクリックし、セットアップを完了させてください。セットアップ終了後、正しくネットワークを接続、設定してください。
- 電源を入れた後、「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログボックスが表示されることがあります。お使いのモニタに合わせたドライバをインストールしてください。

■ セットアップ

1 **本パソコンの電源を入れます（••▶『ハードウェアガイド』参照）。**
しばらくすると、「Windows NT Workstation セットアップ」ダイアログボックスが表示され、セットアップが始まります。

2 **「次へ」をクリックします。**
「使用許諾契約」が表示されます。
「使用許諾契約」とは、本パソコンにあらかじめインストールされている Windows を使用するうえでの契約を記述したものです。

3 「使用許諾契約」をよく読み、「同意します」をクリックし、「次へ」をクリックします。

POINT

- 「同意しません」をクリックし、「次へ」をクリックすると、「…使用許諾契約に同意しないと指定しました。」と表示されます。「いいえ」をクリックすると「使用許諾契約」のダイアログボックスに戻ります。「はい」をクリックすると「致命的なエラー」ダイアログボックスが表示されるので「OK」をクリックしてください。次に表示されるダイアログボックスで「閉じる」をクリックすると、本パソコンが再起動します。

「名前と組織名」のダイアログボックスが表示されます。

4 「名前」と「組織名」を入力し、「次へ」をクリックします。
組織名は省略できます。
コンピュータ名を入力するダイアログボックスが表示されます。

5 コンピュータ名を入力し、「次へ」をクリックします。
「管理者アカウント」ダイアログボックスが表示されます。

6 「パスワード」と「パスワードの確認入力」にパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。

POINT

- パスワードでは大文字／小文字が区別されます。
- 「パスワード」を入力して「次へ」をクリックした場合、「戻る」をクリックして再びパスワードの設定画面に戻ることはできません。

「セットアップは終了しました。」と表示されます。

7 「完了」をクリックします。
本パソコンが再起動し、「オペレーティングシステムの選択」画面が表示されます。

8 【Enter】キーを押します。
しばらくすると、「ログオンの開始」ダイアログボックスが表示されます。

9 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。
「ログオン情報」ダイアログボックスが表示されます。

10 手順 6 で入力したパスワードを入力し、「OK」をクリックします。
「ようこそ」ダイアログボックスが表示されます。

11 「閉じる」をクリックします。

12 「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックします。
「Windows のシャットダウン」ダイアログボックスが表示されます。

13 「コンピュータを再起動する」をクリックし、「はい」をクリックします。
本パソコンが再起動します。

14 ログオン後、デスクトップの「必ず実行してください」アイコンをダブルクリックします。

「必ず実行してください」ダイアログボックスが表示されます。

重 要

- 「必ず実行してください」を行わないと、セットアップの最終設定が行われません。必ず手順通りに実行してください。

15 「OK」をクリックします。

自動設定が行われ、本パソコンが再起動します。アイコンが消えたら、設定は終了です。

重 要

- 自動的に再起動するまでの間は、キーボードやマウスを操作しないでください。

これで、Windows セットアップが完了しました。

■ セットアップ後

カスタムメイドオプションでアプリケーションを選択している場合は、『アプリケーション補足説明書』をご覧ください。

ネットワークの設定

Windows セットアップ後に、お使いのネットワーク環境に合わせて、設定を行ってください。ネットワークの設定を行う場合は、LAN ケーブルを接続してください。

POINT

- ネットワークの設定を行うときに、「Windows NT Workstation 4.0 Disc1 」の CD-ROM を要求される場合があります。このときは、「参照」ボタンは押さずにファイル名のところに直接「c:¥support¥i386」と入力してください。

本パソコンは DHCP を使用するように設定されています。このため、DHCP サーバが存在しない環境では、次の現象が発生する場合があります。

- 起動時に一部動作が遅くなる
- 「DHCP クライアントは IP アドレスを取得できませんでした」とメッセージが表示される

この現象を回避するためにネットワークの設定を変更する必要がある場合には、ネットワーク管理者にご相談ください。

ユーザー登録について

本パソコンのユーザー登録は、2001 年 5 月頃から弊社 Web サイトで行えるようになります。詳しくは、「FM WORLD.NET」（http://www.fmworld.net/）にてご案内する予定です。ご了承ください。

リカバリ CD-ROM 起動ディスクを準備する（CD-ROM ドライブなしモデルをお使いの場合）

CD-ROM ドライブなしモデルを使用する場合は、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」の作成と設定を必ず行ってください。

■ リカバリ CD-ROM 起動ディスクの作成

あらかじめ作成用のフロッピーディスクとラベルを１枚ずつ用意してください。
作成方法は次のとおりです。

1 CD ブートができる別のパソコンに、本パソコンの「リカバリ CD-ROM」をセットして CD-ROM から起動します。
CD-ROM からの起動方法については、お使いのパソコンに添付のマニュアルをご覧ください。

2 「起動エラー」のメッセージが表示されたら、【Esc】キーを押します。
メニューが終了し、コマンドプロンプトになります。

3 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
makefd
```

4 「リカバリ起動ディスクを作成します。」のメッセージが表示されたらフロッピーディスクをセットして、【Enter】キーを押します。
フォーマットが始まり、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」が作成されます。

■ リカバリ CD-ROM 起動ディスクの設定

1 「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」に CD-ROM ドライバのファイルをコピーします。
コピーするファイルについては、お使いになる CD-ROM ドライブに添付されているマニュアルなどをご覧ください。

2 Config.sys を修正します。
「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」の「A:¥Config.sys」の該当箇所（XXXXXXXX）を使用するドライバ名に変更してください。

```
DEVICE=XXXXXXXX.SYS  /D:OEMCD001
```

3 作成したフロッピーディスクに、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」と記入したラベルを貼り、書き込み禁止の状態にします。

ドライバのバックアップ

本パソコンに添付の「ドライバーズ CD」から、「バックアップディスク」を作成します。
「バックアップディスク」は、ドライバのインストールに使用します。

■ バックアップの内容

ソフトウェア名称	機種	フロッピーディスクの枚数	入力するフォルダ名
ドライバディスク for Windows NT(R) 4.0 V1.1 L10D	すべての機種	1	drv
Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter Windows NT(R) 4.0 LAN Driver V5.00.74	〔TX7〕	1	intellan2
Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter Windows NT(R) 4.0 LAN Driver V5.00.71	〔SL7e〕〔SL7〕〔CL7〕〔CX7〕	1	intellan1
Realtek RTL8139 PCI Fast Ethernet Windows NT(R) 4.0 LAN Driver V3.91	〔CL7s〕〔ML7〕	1	rtlan
Promise FastTrak100 IDE RAID Driver	IDE-RAID モデル	1	raid¥drv

次のものを用意してください。

- ドライバーズ CD
- 1.44MB 2HD フロッピーディスク（上記の表を確認し、必要な枚数を購入してください）
- フロッピーディスクのラベル（必要な枚数を購入してください）

■ バックアップ方法

1. 「ドライバーズ CD」とフロッピーディスクをセットします。
2. 「スタート」ボタン→「プログラム」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。
3. コマンドプロンプトから、次のように入力し、【Enter】キーを押します。
   ```
   format a:
   ```
4. 【Enter】キーを押します。
   フォーマットが終了すると、ラベルの入力メッセージが表示されます。
5. 【Enter】キーを押します。
6. 【N】キーを押し、【Enter】キーを押します。

7 コマンドプロンプトから、次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
cd　/d　[CD-ROMドライブ]:¥nt40¥xxx
```

xxx には、「バックアップの内容」（••▶ P.12）の表のフォルダ名を入力します。

8 コマンドプロンプトから、次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
xcopy　*.*　a:　/s　/e　/h
```

9 作成したバックアップディスクに、ソフトウェア名称を記入したラベルを貼り、書き込み禁止の状態にします。

ソフトウェア名称は「バックアップの内容」（••▶ P.12）の表で作成したものを記入してください。

2 プレインストール仕様の確認

Windows セットアップが終了した時点での本パソコンの環境は、次のとおりです。
使用環境に合わせてシステム構成を変更してください。

ソフトウェア一覧

■ プレインストールソフト

名称	備考
Windows NT Workstation 4.0 （Service Pack6a）	「C:¥Winnt」フォルダにインストールされています。操作方法など詳細については、「スタート」メニューに登録されているオンラインヘルプ、および添付の『Windows NT Workstation ファーストステップガイド』をご覧ください。
電源切断用 HAL	Windows NT シャットダウン時に自動的にパソコン本体の電源を切るためのコンポーネントです。
Internet Explorer 5.01	WWW ブラウザです。
MS-IME97	日本語変換ユーティリティです。
Windows 環境調査ツール （FM Advisor）	ご使用のパソコンの動作環境を調査し、アドバイスするべき情報がないかチェックします。また、パソコンの動作環境情報の取得ツールとしてもお使いいただけます。これらの情報を利用して問題の解決に役立てることができます（••▶ P.46）。
MO ディスクフォーマッタ（〔TX7〕〔SL7e〕〔SL7〕〔CL7〕〔ML7〕）	光磁気ディスクのフォーマットやドライブ割り当てを行うユーティリティです。 IDE-RAID モデルを除きます。
Acrobat Reader	PDF（Portable Document Format）書類を表示、閲覧、印刷できます。
FMV 診断	ハードウェアの故障箇所を的確に診断します（••▶ P.46）。
Fast Check Monitoring Utility （IDE-RAID モデルのみ）	ディスクアレイやハードディスク情報の表示、一貫性チェックなどの RAID の管理を行うためのユーティリティです。
Easy CD Creator ※	データ CD や音楽 CD を作成するためのアプリケーションです。使用方法はアプリケーション内のヘルプをご覧ください。
DirectCD ※	CD-R や CD-RW に直接データを書き込むためのアプリケーションです。使用方法はアプリケーション内のヘルプをご覧ください。

カスタムメイドオプションのアプリケーションについては添付の『アプリケーション補足説明書』や各アプリケーションマニュアルをご覧ください。
プレインストールソフトは、必要に応じてアンインストールしてください（••▶ P.21）。
※：カスタムメイドオプションで CD-R/RW ドライブを選択している場合

■ 添付ソフト（未インストール）

POINT

- 一部のソフトウェアの使用方法についてはヘルプまたは Readme.txt などの説明ファイルをご覧ください。
- 選択したカスタムメイドオプションによっては、この他にソフトウェアが添付されることもあります。

名前	備考
MS-IME98	日本語変換ユーティリティです。
VirusScan	コンピュータウイルスを検出・駆除します（••▶ P.24）。
DeskView	パソコンのメモリ、ハードディスクなどの資産の情報を表示したり、パソコンを監視し発生した異常を参照できます。また、パソコンの電源を制御できます。
FMPBTN（〔SL7e〕〔SL7〕〔CL7〕〔CL7s〕〔CX7〕）	パソコンの電源スイッチを押すだけで、自動的にシャットダウンを行い電源を切れるようになります。
FM-Menu	ボタン式メニューから簡単にアプリケーションを起動できます。また、特定キーの入力や Windows 機能を制限します。
はじめよう！インターネット（@nifty）	インターネットのプロバイダである @nifty に入会できます。
Packet Protect ※	セキュリティ LAN をお使いの場合、セキュリティ通信に必要なソフトウェアです。

※：〔TX7〕およびカスタムメイドオプションでセキュリティ LAN を選択している場合

デバイス一覧

POINT

- 本パソコンの仕様は、改善のため予告なく変更することがあります。その際、デバイス名称などが本書の記述と異なる場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

デバイス	名称	備考
CD-ROM ドライブ	IDE CD-ROM（ATAPI 1.2）	CD-R/RW ドライブ（カスタムメイドオプション）も同様
SCSI アダプタと RAID コントローラ	〔TX7〕〔SL7e〕〔SL7〕〔CL7〕〔CL7s〕 Symbios Logic PCI (53c8XX)	SCSI カード（カスタムメイドオプション）
	IDE-RAID モデル WinNT Promise FastTrak 100 (tm) Controller	IDE-RAID カード
キーボード	PC/AT 106 日本語（A01）キーボード	
サウンド	〔TX7〕〔ML7〕 SoundMAX Integrated Digital Audio のオーディオ 〔CX7〕 Sound Fusion(tm) のオーディオ 〔SL7e〕〔SL7〕〔CL7〕〔CL7s〕 Crystal Audio CODEC のオーディオ	MIDI ファイルの再生機能はありません。
ディスプレイ アダプタ	〔TX7〕 RADEON AGP 〔SL7e〕 Rage128 Ultra 4XL 〔SL7〕〔CL7〕〔ML7〕〔CX7〕 Intel(R) Graphics Technology Device 〔CL7s〕 S3 Graphics Inc. ProSavage Display Driver	解像度／色数（〔CX7 以外〕）： 800 × 600 / 65536 色 解像度／色数（〔CX7〕）： 1024 × 768 / 65536 色 リフレッシュレート： 60 ヘルツ
ネットワーク アダプタ	〔TX7〕〔SL7e〕〔CX7〕 Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter (10/100) 〔SL7〕〔CL7〕 Intel(R) PRO/100 VM Desktop Adapter 〔CL7s〕〔ML7〕 Realtek RTL8139(A/B/C/8130) PCI Fast Ethernet Adapter	プロトコル：NetBEUI ／ TCP/IP 識別：WORKGROUP
	Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter (10/100)	セキュリティ LAN カード （カスタムメイドオプション）
フロッピーディスク	3 モードフロッピードライブ	1.44MB/1.23MB/1.2MB/720KB/640KB　の各容量のフロッピーディスクを読み書きできます。

ドライブ構成

ドライブ	容量	備考
C	約 2GB	FAT（FAT16）
D	〔総容量〕－〔C ドライブの容量〕	NTFS
E	CD-ROM（CD-R/RW）※ドライブ	CD-ROM（CD-R/RW）搭載時
Q	光磁気ディスクドライブ	カスタムメイドオプション

※：カスタムメイドオプションの場合は CD-R/RW ドライブ

FAT を NTFS に変換する方法については、「ファイルシステムを変換する」（••▶ P.29）をご覧ください。

POINT

- 〔TX7〕〔SL7e〕〔SL7〕〔ML7〕では、オプションの光磁気ディスクドライブを増設した場合、光磁気ディスクドライブは Q ドライブに割り当てられます（IDE-RAID モデルを除く）。
- 光磁気ディスク媒体に 2 つ以上の区画がある場合は、2 つ目以降の区画にドライブ割り当てが必要です。「MO ディスクフォーマッタ」を使用して、割り当てを行ってください。
- NTFS に変換した場合、Windows NT 4.0、Windows 2000 以外のオペレーティングシステムからは、そのパーティションのファイルにアクセスできなくなります。
- 4GB 以上に割り当てられた NTFS のパーティションに対しては、NTFS の圧縮機能は利用できません。利用するには、ディスクアドミニストレータなどを使用して 4GB 未満のパーティションを作成する必要があります。

■ DMA の設定

デバイス	プライマリ		セカンダリ	
	マスター	スレーブ	マスター※1	スレーブ
〔TX7〕	●（Ultra DMA/100）	○	○	○
IDE-RAID モデル	○	○	○	－
〔SL7e〕	●（Ultra DMA/66）	○	○	○
IDE-RAID モデル	－	－	○	－
〔SL7〕	●（Ultra DMA/100）	○	○	○
〔CL7〕	●（Ultra DMA/100）	－	○※2	－
〔CL7s〕	●（Ultra DMA/100）	－	×	－
〔CX7〕	●（Ultra DMA/66）	○	○	○
〔ML7〕	●（Ultra DMA/33）	×	－	－

●：ご購入時 DMA 設定
○：DMA 設定可
×：DMA 設定不可
－：増設不可
※1：カスタムメイドオプションで光磁気ディスクドライブをお使いの場合は、DMA の設定はできません。
※2：カスタムメイドオプションで CD-R/RW ドライブをお使いの場合は、DMA の設定はできません。

□ 留意事項

- DMA の設定は、チャネル 0（プライマリ IDE）、チャネル 1（セカンダリ IDE）の単位で行われます。
- DMA 転送をサポートしていないドライブを接続して、DMA を設定した場合、正常な動作が保証されません。
- IDE-RAID モデルの標準搭載のハードディスクは DMA（Ultra DMA/100）でのみ使用します。
- IDE-RAID モデルの場合、標準構成では、CD-ROM ドライブがチャネル 0 となります。プライマリ IDE にハードディスクを増設すると、ハードディスクがチャネル 0、CD-ROM がチャネル 1 になります。

□ 設定方法

1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

```
c:¥support¥sp¥dmacheck.exe
```

「ATAPI DMA サポート」ダイアログボックスが表示されます。

4 「DMA 検出状態」で「有効」をクリックし、「OK」をクリックします。

「警告」ダイアログボックスが表示されます。

5 「はい」をクリックします。

「完了」ダイアログボックスが表示されます。

6 「OK」をクリックします。

以上で設定は終了です。再起動すると、DMA が有効になります。
設定が有効になっているかどうかを確認するには、再度 dmacheck.exe を起動します。

3 インストール／アンインストール

Windows セットアップの終了後、必要がある場合には、次の方法でソフトウェアのインストールやアンインストールを行ってください。

添付ソフトのインストール

■ MS-IME98 のインストール

1. 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
2. 「Microsoft® IME98」の CD-ROM をセットします。
   しばらくすると、「Microsoft IME98 セットアップ」ダイアログボックスが表示されます。
3. 「継続」をクリックします。
   メッセージに従ってインストールを続けます。

■ VirusScan のインストール

1. 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
2. 「ドライバーズ CD」をセットします。
3. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
4. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
   [CD-ROMドライブ]:¥nt40¥vsnt¥setup.exe
   インストールが始まります。次の POINT を参照し、メッセージに従って操作してください。

POINT

- 「サービスアカウント情報」ダイアログボックスでは、管理者権限を持った「ユーザー名」とその「パスワード」を入力してください。

■ DeskView のインストール

インストール手順については、「ドライバーズ CD」内の「¥Update¥Etc¥Deskview¥Read1st.txt」をご覧ください。

■ FMPBTN のインストール

インストール手順については、「ドライバーズ CD」内の「¥Nt40¥Fmpbtn¥Fmpbtn.txt」をご覧ください。

■ FM-Menu のインストール

1. 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
2. 「ドライバーズ CD」をセットします。
3. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
4. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
   [CD-ROMドライブ]:¥nt40¥fmmenu¥setupfm-menu.exe
   メッセージに従ってインストールを続けます。

■ はじめよう！インターネット（@nifty）のインストール

1. 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
2. 「ドライバーズ CD」をセットします。
3. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
4. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
   [CD-ROMドライブ]:¥nt40¥niftysgn¥niftysgn¥setup.exe
   メッセージに従ってインストールを続けます。

重 要

- 「セットアップ完了」ダイアログボックスが表示された場合は、「いいえ、後でコンピュータを再起動します。」をクリックし、インストールを終了させてから、「スタート」ボタン→「シャットダウン」→「コンピュータを再起動する」の順にクリックし、本パソコンを再起動させてください。

■ Packet Protect のインストール

セキュリティ LAN を搭載している場合は、「FMV-1803S セキュリティ対応 LAN Driver CD-ROM」の「Readme.txt」をご覧になりセキュリティ LAN の設定および Packet Protect のインストールを行ってください。
〔TX7〕をお使いの場合は、リカバリ CD-ROM の「Pktpt¥Readme.txt」をご覧になり、セキュリティ LAN の設定および Packet Protect のインストールを行ってください。

アンインストール

■ 留意事項

アプリケーションをアンインストールする場合は、次の点に気を付けてください。

- 起動中のアプリケーションをすべて終了してからアンインストールを始める
- DLL ファイルは削除しない
  DLL ファイルを削除すると、他のアプリケーションが正常に動作しなくなることがあります。アプリケーションのマニュアル、ヘルプ、または Readme.txt などの説明ファイルで、特に指示がない場合は DLL ファイルは削除しないことをお勧めします。

■ アンインストール方法

一般的に、次の方法があります。

- アンインストール機能を使用する
  アプリケーションにアンインストール機能が用意されている場合があります。
- 「アプリケーションの追加と削除」機能を使用する
  「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」機能を使用してアプリケーションを削除できます。

アンインストール方法はアプリケーションによって異なります。詳細は各アプリケーションのマニュアル、ヘルプ、または Readme.txt などの説明ファイルをご覧ください。

Memo

第 2 章

快適にお使いいただくために

コンピュータウイルスや、画面の設定方法などについて説明しています。

1　コンピュータウイルス対策 24
2　画面を設定する 26
3　仮想メモリを設定する 28
4　ファイルシステムを変換する 29

1　コンピュータウイルス対策

コンピュータウイルスはプログラムの 1 つで、なんらかの方法でコンピュータ内に読み込まれる（感染する）と、コンピュータウイルス自身で増殖し、大切なデータを壊したり、コンピュータを起動できなくしたりといった悪影響を及ぼします。

VirusScan

本パソコンにはウイルスを発見するためのソフトとして、VirusScan が添付されています。入手したフロッピーディスクや光磁気ディスクなどは、ウイルスチェックを行ったうえで使用してください。VirusScan の使用方法については、ヘルプをご覧ください。
VirusScan はご購入時にはインストールされていません。必要に応じてインストールしてください（••▶ P.19）。

■ 留意事項

- 「VShield」を起動していると、アプリケーションを正常にインストールできなかったり、ご使用のアプリケーションによっては不具合が発生したりすることがあります。この場合は次のいずれかの方法で「VShield」を使用不可にしてください。
  ・「スタート」ボタン→「プログラム」→「Network Associates」→「VirusScan コンソール」の順にクリックします。「VirusScan コンソール」ウィンドウで「VShield」をクリックし、「タスク」メニュー→「使用不可」の順にクリックします。
  ・タスクバーの「VShield」アイコンを右クリックし、「終了」をクリックします。
- VirusScan でコンピュータウイルス検査を行っているときは、ハードディスクにあるプログラムを実行したり、検査中のフロッピーディスクを取り出したりしないでください。
- 本パソコンをフロッピーディスクから起動する場合、そのフロッピーディスクがコンピュータウイルスに感染していないかをチェックしてから使用してください。
- VirusScan は、コンピュータウイルスの情報を記載したデータファイル（DAT ファイル）と、検査プログラム（スキャンエンジン）を使用しています。DAT ファイルは次のサイトから無料でダウンロードできます。定期的に更新してください。
  http://www.nai.com/japan/
  スキャンエンジンを更新する場合は、最新版の VirusScan をご購入ください。

コンピュータウイルスを発見した場合

コンピュータウイルスを発見した場合は、被害届けを提出してください。

重 要

- **コンピュータウイルスに感染してしまい、本パソコンの修理が必要になった場合、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。ご了承ください。**

コンピュータウイルスの被害届け

コンピュータウイルスの届け出制度は、「コンピュータウイルス対策基準」（平成 12 年 12 月 28 日付通商産業省告示第 951 号）の規定に基づいています。コンピュータウイルスを発見した場合、コンピュータウイルス被害の拡大と再発を防ぐために必要な情報を、情報処理振興事業協会（IPA）セキュリティセンターに届け出ることとされています（http://www.ipa.go.jp/security/）。

2 画面を設定する

ここでは、ディスプレイの解像度と色数を変更する方法と各機能について説明します。

解像度と色数について

本パソコンでは、次の解像度、色数が選択できます（次の設定以外はサポート外となります）。

<table>
<tr><th>解像度
（ピクセル）</th><th>色数</th><th>〔TX7〕</th><th>〔SL7e〕</th><th>〔SL7〕</th><th>〔CL7〕</th><th>〔CL7s〕</th><th>〔ML7〕</th><th>〔CX7〕</th></tr>
<tr><td rowspan="3">640 × 480</td><td>256 色
65,536 色</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td>○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td></tr>
<tr><td>16,777,216 色</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>True Color</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="3">800 × 600</td><td>256 色
65,536 色</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td>○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td></tr>
<tr><td>16,777,216 色</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>True Color</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1024 × 768</td><td>256 色
65,536 色</td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td><td>○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="2">○</td></tr>
<tr><td>16,777,216 色</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td>True Color</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1280 × 1024</td><td>256 色
65,536 色</td><td>○</td><td>○※</td><td rowspan="2">○※</td><td rowspan="2">○※</td><td>○</td><td rowspan="2">○</td><td rowspan="3">×</td></tr>
<tr><td>16,777,216 色</td><td>×</td><td>×</td><td rowspan="2">×</td></tr>
<tr><td>True Color</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1600 × 1200</td><td>256 色
65,536 色</td><td>○</td><td rowspan="2">×</td><td rowspan="3">×</td><td rowspan="3">×</td><td rowspan="3">×</td><td rowspan="3">×</td><td rowspan="3">×</td></tr>
<tr><td>16,777,216 色</td><td>×</td></tr>
<tr><td>True Color</td><td>○</td><td>○</td></tr>
</table>

※：ご使用のディスプレイによっては、デジタルディスプレイ（DVI 出力）では表示できない場合があります。

POINT

- ディスプレイの設定を変更する場合は、必ずテストを実行してから変更してください。
- テストビットマップの表示中は、マウスクリックおよびキーボード入力を行わないでください。画面の一部が正常に表示できなくなる場合があります。
  もし、上記現象が発生した場合は、Windows を再起動してください。
- テストせずにディスプレイの解像度や色数を変更して画面が表示されなくなった場合は、Windows を VGA モードで起動し、再度ディスプレイの解像度や色数を変更してください。
- 設定できる色数は、画面の解像度によって異なります。解像度を大きくすると、設定できる色数は少なくなります。
- 解像度／色数の設定によっては、ディスプレイの調整が必要な場合があります（〔CX7〕除く）。
- 画面の設定は、すべてのアプリケーションを終了させてから行ってください。
- ご使用のディスプレイによっては、表示位置が左右にずれる場合があります。この場合は、ディスプレイの設定機能を使用して調整してください（〔CX7〕除く）。
- ご使用のディスプレイによっては、表示できない解像度があります。

3 仮想メモリを設定する

ここでは、仮想メモリ（ページングファイル）の設定方法を説明します。

仮想メモリの設定を行うには、仮想メモリの「最大サイズ」分の空き容量がハードディスクに必要です。本体搭載メモリ容量が大きい場合などに、選択したドライブに十分な空き容量がないときは、別のドライブに設定を行ってください。
仮想メモリの推奨値は、次のとおりです。
　初期サイズ：本体搭載メモリ +11MB
　最大サイズ：初期サイズ +50MB
ただし、ブートパーティション以外に設定する場合、あるいはページングファイルサイズが小さい場合などは、メモリダンプをファイルにできなくなります。ダンプファイルを取得する場合は、システムドライブに最低でも物理メモリ＋ 1MB（仮想メモリの容量は含まず）の容量が必要です。

1. 管理者権限を持ったユーザアカウントでログオンします。
2. 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
   「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
3. 「パフォーマンス」タブをクリックし、「仮想メモリ」の「変更」をクリックします。
   「仮想メモリ」ダイアログボックスが表示されます。
4. ページングファイルが保存されているドライブを変更する場合は、「ドライブ」の一覧で変更するドライブをクリックします。
   システムドライブに十分な空き容量がある場合は、ドライブの変更は必要ありません。
5. 「選択したドライブのページングファイルのサイズ」の「初期サイズ」または「最大サイズ」を適切な値に変更し、「設定」をクリックします。
6. 「OK」をクリックします。
7. 本パソコンを再起動します。

4 ファイルシステムを変換する

本パソコンのハードディスク上のシステムドライブは、FAT16 ファイルシステムでフォーマットされています。
FAT16 から NTFS に変換することで、セキュリティや信頼性を強化できます。
ファイルシステムを NTFS に変換する方法は、次のとおりです。

POINT

- NTFS に変換した場合、Windows NT 4.0、Windows 2000 以外のオペレーティングシステムからは、そのパーティションのファイルにアクセスできなくなります。

	Windows NT 4.0		Windows 2000	Windows 98/Me	Windows 95 OSR2 以降
	Service Pack4 以降	Service Pack3 以前			
Windows NT の NTFS	○	○	○	×	×
Windows 2000 の NTFS	○	×	○	×	×
FAT32	×	×	○	○	○
FAT16	○	○	○	○	○

- すでに作成されているショートカットから、アプリケーションが起動できなくなる場合があります。このときは、ショートカットを削除し、再度作成してください。

1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。
「コマンドプロンプト」ウィンドウが表示されます。

3 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
convert  n:  /fs:ntfs  /v
```

(n には、ファイルシステムを変換するドライブ名を指定します)
ブートパーティションを変換する場合は、次のメッセージが表示されます（ブートパーティションが C ドライブの場合)。

「ファイルシステムの種類は FAT です。
CONVERT で C: ドライブへの排他的アクセスを実行できないため、現時点では変換できません。次回のシステム再起動時にドライブの変換をスケジュールしますか (Y/N)?」

4 【Y】キーを押し、【Enter】キーを押したあと、Windows を再起動します。
このとき、Windows は 2 回再起動します。

Memo

第 3 章

リカバリと再インストール

本パソコンをご購入時の状態に戻す「リカバリ」とソフトウェアの「再インストール」について説明しています。

1　リカバリ概要 32
2　リカバリ操作 34
3　ソフトウェアの再インストール 39

1　リカバリ概要

Windows が起動しないなどの問題が発生した場合、リカバリを行います。

リカバリの概要

リカバリとは、「リカバリ CD-ROM」と「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」（外付け CD-ROM ドライブをお使いの場合）を使用して、OS、ドライバなどのプレインストールソフトウェアをご購入時の状態（「プレインストール仕様の確認」（••▶ P.14））に戻す操作です。

リカバリは、大きく 2 種類に分かれます。

- ご購入時の状態に戻す
  現在のハードディスクの領域設定はそのままで、C ドライブをご購入時の状態に戻します。
- 領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す
  ハードディスクの領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻します。
  ハードディスク領域を変更したときには、領域設定が必要になります。

リカバリの手順

リカバリは次の手順で行います。

■ ご購入時の状態に戻す場合

ハードディスクの領域設定は現在お使いの状態のまま、C ドライブのみをリカバリします。

1　リカバリ前の準備（••▶ P.34）

2　リカバリ方法（ご購入時の状態に戻す）
内蔵 CD-ROM ドライブをお使いの場合（••▶ P.34）
外付け CD-ROM ドライブをお使いの場合（••▶ P.35）

3　リカバリ終了後（••▶ P.38）

■ 領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す場合

リカバリ中に画面上で確認しながら、ハードディスクの領域を再設定します。
100MB 単位で 2 区画まで設定できます。1GB から 4GB までの FAT16 領域が設定できます。

1　リカバリ前の準備（••▶ P.34）

2　リカバリ方法（領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す）
内蔵 CD-ROM ドライブをお使いの場合（••▶ P.36）
外付け CD-ROM ドライブをお使いの場合（••▶ P.37）

3　リカバリ終了後（••▶ P.38）

留意事項

- 次のソフトウェア、ドライバについては、リカバリ後、個別にインストールする必要があります。
  ・カスタムメイドオプションのアプリケーション
- リカバリやハードディスクの領域の変更を行うと、C ドライブのファイルはすべて削除されます。必要に応じて事前にバックアップを行ってください。
- 「ご購入時の状態に戻す（推奨）」を選択した場合は、リカバリを行っても、C ドライブ以外のドライブはフォーマットされません。
- 「ご購入時の状態に戻す（推奨）」以外を選択してリカバリを行った場合、D ドライブもフォーマットされます。リカバリ前に必要なデータを必ずバックアップしてください。
- リカバリを行うと、C ドライブは FAT16 に設定されます。NTFS に変換していた場合は、リカバリ後再度変換してください（••▶ P.29）。
- 周辺機器を取り付けている場合は、それらをいったん取り外し、ご購入時の状態に戻してください。
- CD-ROMなしモデルをお使いの方は、リカバリにはSCSIカードを増設し、外付けのCD-ROMドライブを接続する必要があります。あらかじめご用意ください。
- 領域設定できる最大容量はお使いになるハードディスクにより若干異なります。

2　リカバリ操作

本パソコンをご購入時の状態に戻す「リカバリ」の方法を説明します。

POINT

- リカバリに関する留意事項（••▶ P.33）をよくお読みのうえ、リカバリを行ってください。

リカバリ前の準備

リカバリを実行する前に、次の操作を行ってください。

■ 外付け CD-ROM ドライブをお使いの場合

1. リカバリ CD-ROM 起動ディスクの準備を行います（••▶ P.11）。
2. 本パソコンに CD-ROM ドライブを接続します。

■ BIOS 設定について

BIOS の設定をご購入時の設定に戻します（••▶『ハードウェアガイド』参照）。

POINT

- BIOS セットアップの設定をご購入時と異なる設定にしていると、インストール時にエラーメッセージが表示されることがあります。
- 〔TX7〕のカスタムメイドオプションでスマートカードリーダ／ライタを選択している場合、BIOS セットアップで次の項目を設定してください。
  「Advanced」－「Peripheral Configuration」－「Serial2」: Disabled

リカバリ方法（ご購入時の状態に戻す）

本パソコンをご購入時の状態に戻します。ハードディスクの領域は変更されません。

重 要

- リカバリを行うと、C ドライブのファイルはすべて削除されます。ご注意ください。

■ 内蔵 CD-ROM ドライブをお使いの場合

次のものを用意してください。

●「リカバリ CD-ROM」

1. 「リカバリ CD-ROM」をセットします。
2. 本パソコンを再起動します。

3 「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されたら、すぐに【F12】キーを押し続けます。
メニューが表示されます。

4 CD-ROM ドライブを選択し、【Enter】キーを押します。
「リカバリ CD-ROM」画面が表示されます。

5 【Page　Up】【Page　Down】キーで説明をスクロールして内容を確認し、【Y】キーを押します。

6 「ご購入時の状態に戻す（推奨）」が反転表示されていることを確認して【Enter】キーを押します。
確認の画面が表示されます。

POINT

- ハードディスクの領域を設定し直してリカバリしたい場合は、「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選択してください。画面を見ながら区画を任意に設定し、リカバリできます（••▶ P.36）。

7 【Y】キーを押します。
しばらくすると「NORTON Ghost™」の画面が表示され、ファイルのコピーが始まります。
リカバリが終了すると「復元作業が正常に終了しました。」と表示されます。

8 CD-ROM を取り出してから、本パソコンの電源を切ります。

9 以降、「リカバリ終了後」を参照して操作を行ってください（••▶ P.38）。

■ 外付け CD-ROM ドライブをお使いの場合

次のものを用意してください。

- 「リカバリ CD-ROM」
- 準備した「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」（••▶ P.11）

1 「リカバリ CD-ROM」と「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をセットします。

2 本パソコンを再起動します。

3 【Page　Up】【Page　Down】キーで説明をスクロールして内容を確認し、【Y】キーを押します。

4 「ご購入時の状態に戻す（推奨）」が反転表示されていることを確認して【Enter】キーを押します。
確認の画面が表示されます。

POINT

- ハードディスクの領域を設定し直してリカバリしたい場合は、「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選択してください。画面を見ながら区画を任意に設定し、リカバリできます（••▶ P.36）。

5 【Y】キーを押します。
しばらくすると「NORTON Ghost™」の画面が表示され、ファイルのコピーが始まります。
リカバリが終了すると「復元作業が正常に終了しました。」と表示されます。

6 フロッピーディスクとCD-ROMを取り出してから、本パソコンの電源を切ります。

7 以降、「リカバリ終了後」を参照して操作を行ってください（••▶ P.38）。

リカバリ方法（領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す）

ハードディスクの領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻します。
リカバリ中に画面で確認しながら、100MB 単位で 2 区画までの領域を設定できます。
C ドライブには、1GB から 4GB までの FAT16 領域が作成できます。

■ 内蔵 CD-ROM ドライブをお使いの場合

次のものを用意してください。
●「リカバリ CD-ROM」

1 「リカバリ CD-ROM」をセットします。

2 本パソコンを再起動します。

3 「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されたら、すぐに【F12】キーを押し続けます。
メニューが表示されます。

4 CD-ROM ドライブを選択し、【Enter】キーを押します。
「リカバリ CD-ROM」画面が表示されます。

5 【Page　Up】【Page　Down】キーで説明をスクロールして内容を確認し、【Y】キーを押します。

6 「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。
領域の設定方法により、ここからの操作は異なります。

7 領域の設定方法により、次の操作のどちらかを行ってください。

重要

- 領域を変更すると、ハードディスク内のすべてのデータが失われます。

・「領域を任意に設定して戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。
C ドライブの容量を任意に設定してください。【←】【→】キーを押すと、100MB 単位で、領域を設定できます。
領域を設定したら、【Enter】キーを押します。
・「領域をご購入時の状態にして戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。
ハードディスク内の領域が、ご購入時の設定となります。

8 【Y】キーを押します。
領域の設定が行われ、再起動メッセージが表示されます。

9 【Enter】キーを押します。
本パソコンが再起動します。
「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されたら、すぐに【F12】キーを押し続けます。

10 CD-ROM ドライブを選択し、【Enter】キーを押します。
ファイルのコピーが始まります。
ファイルのコピーが終了すると、「復元作業が正常に終了しました。」と表示されます。

11 CD-ROM を取り出してから、本パソコンの電源を切ります。

12 以降、「リカバリ終了後」を参照して操作を行ってください（••▶ P.38）。

■ 外付け CD-ROM ドライブをお使いの場合

次のものを用意してください。
- 「リカバリ CD-ROM」
- 準備した「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」（••▶ P.11）

1 「リカバリ CD-ROM」と「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をセットします。

2 本パソコンを再起動します。

3 【Page　Up】【Page　Down】キーで説明をスクロールして内容を確認し、【Y】キーを押します。

4 「領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。
領域の設定方法により、ここからの操作は異なります。

5 領域の設定方法により、次の操作のどちらかを行ってください。

重要

- 領域を変更すると、ハードディスク内のすべてのデータが失われます。

・「領域を任意に設定して戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。
C ドライブの容量を任意に設定してください。【←】【→】キーを押すと、100MB 単位で、領域を設定できます。
領域を設定したら、【Enter】キーを押します。
・「領域をご購入時の状態にして戻す」を選択し、【Enter】キーを押します。
ハードディスク内の領域が、ご購入時の設定となります。

6 【Y】キーを押します。
領域の設定が行われ、再起動メッセージが表示されます。

7 【Enter】キーを押します。
本パソコンが再起動します。
C ドライブがフォーマットされたあと、ファイルのコピーが始まります。ファイルのコピーが終了すると、「復元作業が正常に終了しました。」と表示されます。

8 フロッピーディスクと CD-ROM を取り出してから、本パソコンの電源を切ります。

9 以降、「リカバリ終了後」を参照して操作を行ってください（••▶ P.38）。

リカバリ終了後

本パソコンの電源を切ったあと、以下の操作を行ってください。

1 周辺機器が取り付けられている場合は、すべて取り外します（カスタムメイドオプションを除く）。

2 電源を入れます。

3 以降、第１章を参照して Windows のセットアップを行ってください（••▶ P.8）。

標準の LAN をお使いの方は、以上でリカバリは終了です。
セキュリティ LAN を搭載している場合は、「FMV-1803S セキュリティ対応 LAN Driver CD-ROM」の「Readme.txt」をご覧になり、セキュリティ LAN の設定を行ってください。
〔TX7〕をお使いの場合は、リカバリ CD-ROM の「Pktpt¥Readme.txt」をご覧ください。

セットアップ後、必要に応じてソフトウェアをアンインストールしてください（••▶ P.21）。
また、必要に応じてドライバ、添付アプリケーションまたはカスタムメイドオプションのアプリケーションをインストールします。

3　ソフトウェアの再インストール

一部のドライバおよびアプリケーションの再インストール方法を説明します。

操作に必要なもの

- ドライバーズ CD
- 「Microsoft® IME98」の CD-ROM
- 「ドライバのバックアップ」(••▶ P.12) で作成した「バックアップディスク」のうち、次のもの
  - 「ドライバディスク for Windows NT(R) 4.0 V1.1 L10D」
  - 「Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter Windows NT(R) 4.0 LAN Driver V5.00.74」〔TX7〕
  - 「Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter Windows NT(R) 4.0 LAN Driver V5.00.71」〔SL7e〕〔SL7〕〔CL7〕〔CX7〕
  - 「Realtek RTL8139 PCI Fast Ethernet Windows NT(R) 4.0 LAN Driver V3.91」〔CL7s〕〔ML7〕
  - 「Promise FastTrak100 IDE RAID Driver」（IDE-RAID モデル）

POINT

- カスタムメイドオプションのアプリケーションについては、添付の『アプリケーション補足説明書』をご覧ください。
- 必要なドライバやアプリケーションをインストールしたら、Windows NT Service Pack6a を必ずインストールしてください（••▶ P.42）。
- インストール時に「Windows NT Workstation 4.0 Disc1」の CD-ROM を要求された場合は、「c:¥support¥i386」と指定してください。

ドライバの再インストール

重要

- すでにインストールされているドライバについては、特に問題がない限りインストールしないでください。

ドライバのインストールは、それぞれのドライバのインストール手順をご覧ください。
インストール手順は次の表の場所にあります。

ドライバ	機種	インストール手順の保存場所とファイル名
SCSI ドライバ	〔TX7〕	「ドライバーズ CD」内の¥Nt40¥Atirdion¥Install.txt
	〔SL7e〕〔SL7〕〔CL7〕〔CL7s〕	「ドライバーズ CD」内の¥Nt40¥Lsiscsi¥Scs4¥Install.txt
ディスプレイドライバ	〔TX7〕〔SL7e〕	「ドライバーズ CD」内の¥Nt40¥Atigl¥R128nt¥Install.txt
	〔SL7〕〔CL7〕〔ML7〕〔CX7〕	「ドライバーズ CD」内の¥Nt40¥I810e¥Install.txt
	〔CL7s〕	「ドライバーズ CD」内の¥Nt40¥Kl133¥Install.txt
サウンドドライバ	〔TX7〕〔ML7〕	「ドライバーズ CD」内の¥Nt40¥SndMax¥Instnt.txt
	〔CX7〕	「ドライバーズ CD」内の¥Nt40¥Cs4281¥Install.txt
	〔SL7e〕〔SL7〕〔CL7〕〔CL7s〕	「ドライバーズ CD」内の¥Nt40¥Cs4299¥Install.txt
LAN ドライバ	〔TX7〕	「ドライバのバックアップ」（••▶ P.12）で作成した「バックアップディスク」内の Readme.txt
	〔SL7e〕〔SL7〕〔CL7〕〔CX7〕	「ドライバのバックアップ」（••▶ P.12）で作成した「バックアップディスク」内の Readme.txt
	〔CL7s〕〔ML7〕	「ドライバのバックアップ」（••▶ P.12）で作成した「バックアップディスク」内の Readme.txt
RAID ドライバ	IDE-RAID モデル	「ドライバのバックアップ」（••▶ P.12）で作成した「バックアップディスク」内の Readme.txt

この表以外のドライバについては、「ドライバーズ CD」内の「Indexcd.htm」で該当するドライバのフォルダ名称を確認し、フォルダ内の「Readme.txt」または「Install.txt」をご覧ください。

POINT

- ディスプレイドライバ、サウンドドライバをインストールする前に、必ず Windows NT Service Pack6a をインストールしてください。

■ 3 モードフロッピーディスクドライバのインストール

3 モードフロッピーディスクドライバのインストールは、「バックアップディスク」から行います。

1. 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
2. 「ドライバディスク for Windows NT(R) 4.0 V1.1 L10D」とラベルが貼られたフロッピーディスクをセットします。
3. 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Windows NT エクスプローラ」の順にクリックします。
   「エクスプローラ」ウィンドウが表示されます。
4. フロッピーディスクの「¥3mode」フォルダに移動します。
5. 「floppy00.inf」を右クリックし、「インストール」をクリックします。

   POINT

   - 「floppy00」と表示される場合や、「floppy00」が複数表示される場合があります。これは、「登録されているファイルの拡張子は表示しない」がチェックされているためです。Windows NT エクスプローラで「表示」メニュー→「オプション」の順にクリックし、拡張子を表示するように設定してください。

   ドライバがインストールされ、再起動メッセージが表示されます。
6. フロッピーディスクを取り出し、「はい」をクリックします。
   Windows が再起動すると、3 モードフロッピーディスクドライバが有効になります。

■ 光磁気ディスクドライバのインストール

1. 「ドライバーズ CD」をセットします。
2. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
3. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
   [CD-ROM ドライブ]:¥nt40¥moformat¥setup.exe
   メッセージに従ってインストールを続けます。

■ Windows NT Service Pack6a のインストール

Windows NT Service Pack6a には、Windows NT に対する新しい修正、以前にリリースされた Service Pack の修正が含まれています。ドライバなどをインストールしたら、Windows NT Service Pack6a をインストールしてください。

1. 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
2. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
3. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
   C:¥support¥sp¥sp6i386.exe
   「Windows NT Service Pack セットアップ」ダイアログボックスが表示されます。
4. 「同意する」をチェックし、「インストール」をクリックします。
   メッセージに従ってインストールを続けます。インストールが終了すると、再起動メッセージが表示されます。
5. 「再起動」をクリックします。

POINT

- Windows のバージョン情報は、次の手順で見ることができます。
  1.「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
  2.「ヘルプ」メニュー→「バージョン情報」の順にクリックします。
- 新しいドライバなどをインストールしたあとは、Service Pack6a を再度インストールしてください。

プレインストールソフトの再インストール

■ Internet Explorer 5.01 のインストール

ご購入時には Internet Explorer 5.01 がインストールされています。
再インストールを行う場合は、「リカバリ CD-ROM」の ¥IE5¥IE5SETUP を実行してください。

POINT

- Internet Explorer のインストールは、Windows NT Service Pack6a のインストール後に行ってください。

■ Windows 環境調査ツール（FM Advisor）のインストール

1. 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
2. 「ドライバーズ CD」をセットします。
3. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

4 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
　[CD-ROMドライブ]:¥nt40¥fmadv¥advisor¥setup.exe
メッセージに従ってインストールを続けます。

■ Acrobat Reader のインストール

1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。

2 「ドライバーズ CD」をセットします。

3 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

4 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
　[CD-ROMドライブ]:¥nt40¥ac¥acrobat¥ar405jpn.exe

5 「次へ」を２回クリックします。

6 「情報」で「OK」をクリックします。

7 本パソコンを再起動します。

■ FMV 診断のインストール

1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。

2 「ドライバーズ CD」をセットします。

3 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

4 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
　[CD-ROMドライブ]:¥nt40¥fmvdiag¥fmv505b¥disk1¥setup.exe
メッセージに従ってインストールを続けます。

■ RAID ユーティリティのインストール（IDE-RAID モデルのみ）

1 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。

2 「ドライバーズ CD」をセットします。

3 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

4 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
　[CD-ROMドライブ]:¥nt40¥raid¥uty¥setup.exe
メッセージに従ってインストールを続けます。

Memo

第 4 章

困ったときに

4

おかしいなと思ったときや、わからないことがあったときの対処方法について説明しています。

1　こんなときには 46
2　それでも解決できないときは 52
3　その他の留意事項 55

1　こんなときには

ここでは、Windows の使用時に直面する問題について、Q&A 形式でまとめています。また、トラブルが発生したときや困ったときの参照先を説明しています。

トラブル発生時の参照先

■ Windows に関して

添付の Windows のマニュアルか、「スタート」メニューに登録されているオンラインヘルプをご覧ください。

■ ハードウェアに関して

『ハードウェアガイド』をご覧ください。

トラブルシューティング

□ オンラインヘルプやエラーメッセージの対処方法を参照しても原因がわからない

- 本パソコンでは、次のパソコン診断アプリケーションを用意しています。

  Windows 環境調査ツール（FM Advisor）

  FM Advisor の使用方法は次のとおりです。

  1. 「スタート」ボタン→「プログラム」→「FM Advisor」→「FM Advisor」の順にクリックします。
     調査結果が表示されます。

  FMV 診断

  FMV 診断の使用方法は次のとおりです。

  1. 「スタート」ボタン→「FMV 診断」の順にクリックします。
     あとはメッセージに従って操作してください。

POINT

- 起動中のアプリケーションや常駐プログラムはすべて終了してください。
- スクリーンセーバーは「なし」に設定してください。
- フロッピーディスクドライブを診断する場合は、フォーマット済みのフロッピーディスクをセットしてください。
- CD-ROM ドライブを診断する場合は、お手持ちの CD-ROM をセットしてください。

□Windows が起動しなくなった

● **「ドライバース CD」に入っている「QT-PC/U」という診断プログラムでパソコンの診断をしてください。**

診断後にエラーコードが表示された場合は、メモなどに控えておき、お問い合わせの際にお知らせください。

診断時間は通常 5 ～ 10 分程度ですが、診断するパソコンの環境によっては長時間かかる場合があります。

POINT

▶ 「QT-PC/U」によるパソコンの診断は、内蔵 CD-ROM ドライブから実行できます。外付け CD-ROM ドライブからは、実行できません。

1. 「ドライバース CD」をセットします。
2. 本パソコンの電源を一度切り、再び電源を入れます。
3. 「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されたら、すぐに【F12】キーを押し続けます。
   メニューが表示されます。
4. CD-ROM を選択し、【Enter】キーを押します。
   自動的に診断が開始されます。診断は 6 項目について行われ、各項目の診断結果が画面の「STATUS」の部分に表示されます。
   ・診断でエラーが発生した場合は、「STATUS」部に「ERROR」と表示され、画面の「Message Display」部に 8 桁のエラーコードが表示されます。
   ・お問い合わせの際は、表示されたエラーコードをお知らせください。
   ・診断でエラーが発生しなかった場合は、「STATUS」部に「NO ERROR」と表示されます。
5. 診断が終了し、画面の「Message Display」部に次のように表示されたら、CD-ROM を取り出します。
   Eject CD-ROM.
   Press Ctrl + ALT + DEL for power off
6. 【Ctrl】＋【Alt】＋【Delete】キーを押します。
7. 次のように表示されたら、【Enter】キーを押します。
   [Ctrl+ALT+DEL Push] -> Power off execute ok (ENTER)?
   約 5 秒後に電源が切れます。
   ただし、機種によっては次のように表示され、自動的に電源が切れない場合があります。
   Please power off manually
   この場合は、パソコン本体の電源を切ってください。

● **上記の操作でエラーが発生しなかった場合は、「リカバリと再インストール」（••▶ P.31）をご覧になり、本パソコンをご購入時の状態に戻してください。**

それでも解決しない場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」またはご購入元にご連絡ください。

□ディスプレイドライバ、サウンドドライバ、LAN ドライバが正しく動作しない

● **各ドライバをインストールし直す必要があります。**

お使いの機種に対応する各ドライバは、「デバイス一覧」（••▶ P.16）でご確認ください。インストール方法については、「ドライバの再インストール」（••▶ P.40）をご覧ください。

□モデムを追加したい

● 次の手順で追加してください。

1. 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
2. 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
   「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
3. 「モデム」アイコンをダブルクリックします。「新しいモデムのインストール」ダイアログボックスが表示されます。
4. 「モデムを一覧から選択するので検出しない」をチェックし、「次へ」をクリックします。
5. 「製造元」からモデムメーカーを、「モデル」から該当するモデムを選択し、「次へ」をクリックします。

POINT

▶ モデムにドライバディスクが添付されている場合は、それらをセットしてから「ディスク使用」をクリックし、該当するモデムを選択します。

6. 「選択したポート」をクリックし、表示されている COMn（n には数字が表示されています）をクリックして、「次へ」をクリックします。
7. 「完了」をクリックします。
   「モデムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
8. 「ダイヤルのプロパティ」をクリックします。
9. 所在地の設定を行い、「閉じる」をクリックします。
   国／地域番号：現在お使いになっている国を選択します（例：日本）。
   市外局番：現在お使いになっている場所の市外局番を入力します（例：03）。
   外線発信番号：内線を使用している方で、外線にかける場合に必要な番号を入力します（例：0）。
   ダイヤル方法：電話の契約がプッシュ回線の場合はトーン、ダイヤル回線の場合はパルスを選択します。
10. 「閉じる」をクリックします。

□プリンタを追加したい

● 次の手順で追加してください。

1. 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
2. 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」の順にクリックします。
3. 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。
   「プリンタの追加ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。
   以降は、ローカルプリンタを追加するか、ネットワークプリンタを追加するかで手順が異なります。

ローカルプリンタの場合

4. 「このコンピュータ」をクリックし、「次へ」をクリックします。
5. 「利用可能なポート」の「LPT1:」をチェックし、「次へ」をクリックします（通常は LPT1 ですが、空いていない場合は別のポートを選択します）。
6. 「製造元」からプリンタメーカーを、「プリンタ」から該当するプリンタを選択し、「次へ」をクリックします。

POINT

▶ プリンタにドライバディスクが添付されている場合は、それらをセットしてから「ディスク使用」をクリックし、該当するプリンタを選択します。

7. 「プリンタ名」でプリンタの名前を付け、「次へ」をクリックします。すでにほかのプリンタドライバがインストールされている場合は、Windows アプリケーションで選択したプリンタを通常使うかどうかを選択し、「次へ」をクリックします。
8. プリンタを共有しない場合は、「共有しない」をクリックし、「次へ」をクリックします。共有する場合は「共有する」をクリックし、「共有名」を付け、「次へ」をクリックします。
9. テストページを印刷する場合は、「はい（推奨）」をクリックし、印刷しない場合は「いいえ」をクリックします。
10. 「完了」をクリックします。

ネットワークプリンタの場合

4. 「ネットワークプリンタサーバー」をクリックし、「次へ」をクリックします。
   「プリンタの接続」ダイアログボックスが表示されます。
5. 「共有プリンタ」からプリンタを選択し、「OK」をクリックします。
6. すでに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、Windows アプリケーションで選択したプリンタを通常使うかどうかを選択し、「次へ」をクリックします。
7. 「完了」をクリックします。

□〔CX7〕で光磁気ディスクを使用したい

● PC カード（SCSI）接続の光磁気ディスクドライブを使用してください。

□光磁気ディスクドライブをスーパーフロッピー形式で使用したい

● 光磁気ディスクドライブの設定は必要ありません。光磁気ディスクをスーパーフロッピー形式でフォーマットするには、「MO ディスクフォーマッタ」を使用してください。〔CL7s〕〔CX7〕および IDE-RAID モデルを除く機種はプレインストールされています。〔CL7s〕〔CX7〕および IDE-RAID モデルはインストールが必要です（••▶ P.41）。なお、「MO ディスクフォーマッタ」は、SCSI 規格／ ATAPI 規格の光磁気ディスクドライブで使用できます（〔CL7s〕〔CX7〕および IDE-RAID モデルは SCSI 規格の外部機器のみ）。

□親指シフトキーボード（FMV-KB211）を使用するには？

● 次の手順で設定してください。

1. 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
2. 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
   「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
3. 「キーボード」アイコンをダブルクリックします。
4. 「全般」タブの「変更」をクリックします。
5. 「すべてのデバイスを表示」をクリックし、「モデル」から「富士通 FMV 親指シフトキーボード」を選択して、「OK」をクリックします。
   「ディスクの挿入」ダイアログボックスが表示されます。
6. 「OK」をクリックします。
7. 「コピー元」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
   c:¥support¥i386
8. 「閉じる」をクリックします。
9. 「今すぐ再起動しますか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。

□キーボードの NumLock がオンの状態で、Windows を起動したい

● NumLock がオンの状態でログオフすると、次回から NumLock がオンの状態で起動します。

□Windows 95 や MS-DOS のように、パソコン同士をシリアルケーブルで接続してデータをやりとりしたい

● RAS（Remote Access Service）の機能を使うことによって、シリアルケーブル接続でデータをやりとりできます。
「Q: モデムを追加したい」（••▶ P.48）に従ってモデムの追加を行います。このとき、「製造元」から「(標準のモデムドライバ)」を、「モデル」から「シリアルケーブル PC-PC 接続」を選択してください。

□ログオン時のパスワードに、大文字、小文字の区別はありますか？

● あります。

□自動ログオン（パスワード入力なしでログオンすること）に設定したい

● 次の手順で設定してください。

1. 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
2. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
3. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
   regedt32
4. 「ローカルマシン上の HKEY_LOCAL_MACHINE」ウィンドウをアクティブにし、次のレジストリに移動します。
   「HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Windows NT¥CurrentVersion¥Winlogon」
5. 「AutoAdminLogon」をダブルクリックします。
6. 「文字列」の値を「1」に変更し、「OK」をクリックします。
7. 「DefaultPassword」をダブルクリックします。
8. 「文字列」に DefaultUserName にリストされたユーザーのパスワードを入力し、「OK」をクリックします。
9. 「レジストリ」メニュー→「レジストリエディタの終了」の順にクリックします。

重要

- 手順 8 でパスワードを設定しない場合は、次回のログオン時のみ自動ログオンできます。
- レジストリの変更時に誤った設定を行うと、本パソコンが起動できなくなることがあります。変更するときは、十分に注意してください。
- 手順 5 および手順 7 のレジストリの値がない場合は、「編集」メニュー→「値の追加」の順にクリックし、それぞれ次のように入力して、「OK」をクリックします。
  - 手順 5
    値の名前：AutoAdminLogon
    データタイプ：REG_SZ
  - 手順 7
    値の名前：DefaultPassword
    データタイプ：REG_SZ
- ネットワーク環境において、Windows NT 4.0 の自動ログオン機能を使用する場合、本パソコン起動時にサーバに接続できないことがあります。この場合は、サーバへの再接続を行ってください。
- 自動ログオン機能を使用してネットワークに接続した場合、正規ユーザー以外がネットワークにログインすることが可能になります。セキュリティ上の問題が発生する場合、自動ログオン機能を使用しないでください。

□「レジストリクォータ不足」の警告（「システムのレジストリクォータが不足しています。レジストリクォータを増やすには、「コントロールパネル」ウィンドウの「システム」を起動して「仮想メモリ」をクリックしてください。」）が表示された

● 次の手順で設定してください。

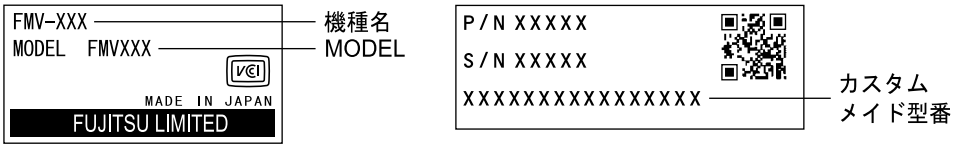
1. 管理者権限を持ったユーザーアカウントでログオンします。
2. 実行中のアプリケーションを終了します。
3. 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
   「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
4. 「システム」アイコンをダブルクリックします。
   「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
5. 「パフォーマンス」タブをクリックし、仮想メモリの「変更」をクリックします。
6. 「最大レジストリサイズ（MB）」に「19」と入力し、「OK」をクリックします。
   「システムのプロパティ」ダイアログボックスに戻ります。
7. 「閉じる」をクリックします。
8. 「今すぐ再起動しますか？」と表示されたら、「はい」をクリックします。
   操作後も上記のメッセージが表示される場合は、「最大レジストリサイズ（MB）」を「20」以上に設定してください。

2 それでも解決できないときは

下記の連絡先にお問い合わせください。なお、お問い合わせ前に機種名／ MODEL ／カスタムメイド型番を確認し、「お問い合わせ前の確認シート」（••▶ P.54）に環境とトラブル状況などを記入してください。

■ 機種名／ MODEL ／カスタムメイド型番の表記場所

パソコン本体に貼られているラベルに記載されています。



■ 連絡先

こんなときには	こちらへ
添付品の不備	ご購入元
故障かなと思われたとき	「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」※ またはご購入元
FM シリーズの技術的なご質問・ご相談	「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」※
本パソコンにインストールされているソフトウェアのお問い合わせ	「お問い合わせ一覧」（••▶ P.53）

※：「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」の連絡先は、添付の『修理サービス網一覧表』をご覧ください。

■ 情報サービス

また、次の方法で情報サービスを行っております。

富士通パソコン FAX サービス（カタログ、Q&A 情報）	043-299-3642（千葉） 06-6949-3270（大阪）
インターネット（製品の技術情報、Q&A 情報）	富士通パソコンホームページ FM WORLD.NET http://www.fmworld.net/

お問い合わせ一覧

本パソコンに添付されているソフトウェアの内容については、次の連絡先にお問い合わせください。なお、記載の情報は、2001 年 4 月現在のものです。電話番号などが変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」へお問い合わせください。

- **はじめよう！インターネット（@nifty）**
  - ・入会／ @nifty サービス全般
    ニフティ株式会社 @nifty サービスセンター
    9:00 ～ 21:00（指定の休日を除く）
    電話：0120-816-042
    （携帯・PHS・海外の場合：03-5444-2902）
    E-mail：feedback@nifty.com
    URL：http://www.nifty.com/support/madoguchi/index.htm
  - ・パスワード再発行／各種手続き／解約
    ニフティ株式会社 @nifty カスタマーセンター
    9:00 ～ 21:00（指定の休日を除く）
    電話：0120-842-210
    （携帯・PHS・海外の場合：03-5471-5806）
    E-mail：feedback@nifty.com
- VirusScan Ver.4.5
  日本ネットワークアソシエイツ株式会社
  テクニカルサポートセンター
  9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00（土日、祝祭日を除く）
  電話：03-3379-7770
  URL：http://www.nai.com/japan/
- Adobe Acrobat Reader4.05
  ソフトウェア提供会社様より無償で提供されている製品のため、ユーザーサポートはございません。ご了承ください。
- **アプリケーション（カスタムメイドオプション）**
  各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。
- **その他　FM シリーズの技術的なご質問・ご相談**
  富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口
  （添付の『修理サービス網一覧表』をご覧ください）

本ソフトウェア製品の中には第三者のソフトウェア製品が含まれています。お客様の本ソフトウェア製品の使用開始については、お客様が弊社の「ご使用条件」に同意された時点とし、第三者のソフトウェア製品についても同時に使用開始とさせていただきます。
なお、第三者のソフトウェアについては、製品の中に特に記載された契約条件がある場合には、その契約条件にしたがい取り扱われるものとします。

お問い合わせ前の確認シート

■ お客様の環境

お使いの パソコンの 機種は？	機種名：FMV-	MODEL：FMV
	カスタムメイド型番：	
	購入日：	購入店：

メモリの容量は？	本体標準：　　MB	
	増設：　　MB	［メーカー：　　］ ［型番：　　］

	種類	型番号	メーカー
増設した 周辺機器は？			

	ソフトウェア名	バージョン／レベル	メーカー
お使いの ソフトウェアは？	Windows NT	4.00（Service Pack 6a）	－

■ トラブル状況

トラブルの内容は？	
何をしているときに 起こりましたか？	
エラーメッセージは 表示されましたか？ その内容は何ですか？	
以前は問題なく 動作していましたか？	・以前は動作した ・今回初めて試した ・以前から動作しない

3　その他の留意事項

本パソコンをお使いになるうえでの留意事項を記載しています。

■ Windows NT の CD-ROM を要求された場合

ドライバのインストール時などに、「Windows NT Workstation 4.0 Disc1」の CD-ROM を要求される場合があります。このときは、「c:¥support¥i386」と指定してください。

重 要

- 「C:¥Support¥I386」フォルダは削除しないでください。削除すると、ネットワークコンポーネントの追加などができなくなります。

■ 本パソコンで使用するソフトウェア

古いバージョン／レベルのソフトウェア（アプリケーション、ドライバ）を使用すると、本パソコンおよびソフトウェアが正常に動作しない場合があります。本パソコンに添付されているソフトウェアは、添付されているバージョンを使用するか、その最新版を入手して使用してください。

また、本パソコンに添付されていないソフトウェアの場合も、最新版を使用してください。

■ 他の OS を使うには

Windows 2000 など、他の OS を使うには、いくつかの設定を行う必要があります。また機種により使用できない OS もあります。詳しくは、富士通パソコンホームページ FM WORLD.NET（http://www.fmworld.net/）をご覧ください。

なお、インターネットをご利用になれない場合は、ご購入元にご確認ください。

■ Acrobat Reader について

市販のアプリケーションによっては、インストールの際に、Acrobat Reader を一緒にインストールするものがあります。このとき、本パソコンにプレインストールされている Acrobat Reader 4.05 よりも低いバージョンのものがインストールされてしまうことがあります。

バージョンをご確認のうえ、Acrobat Reader 4.05 をインストールし直してください（••▶ P.43）。

■ ディスプレイドライバ

- 「ドライバーズ CD」内のご使用になるディスプレイドライバのフォルダに、Readme.txt などの説明ファイルが用意されています。その他の注意事項を記載していますので、あわせてご覧ください。
- 解像度、色数、リフレッシュレートの変更を行い、「この新しい設定が正しいかどうかテストしていません。」という警告メッセージが表示された場合は、必ず「キャンセル」をクリックし、テストを行ってください。
- 本ディスプレイドライバは、Windows NT Service Pack6a 上で動作します。
- グラフィック性能は、環境設定および使用するアプリケーションによって異なります。
- 解像度を変更した場合、一部のアプリケーションでウィンドウが画面からはみ出すことがあります。この場合は、ウィンドウをドラッグして正しい位置に移動するか、解像度を元に戻してください。
- お使いになるディスプレイや、解像度の設定によっては、CAD 系アプリケーションなどで縦線と横線の太さが異なって見えることがあります。設定を調整して使用してください。なお、正常に表示されない場合は、色数を次のように設定してください。
  〔TX7〕〔SL7e〕〔CL7s〕: 256 色
  〔SL7〕〔CL7〕〔ML7〕〔CX7〕: 256 色または 16,777,216 色
- DirectX のサポートは、DirectX3 の DirectDraw のみです。
- 〔TX7〕〔SL7e〕〔CL7s〕の場合、OpenGL のハードウェアアクセラレーションは True Color および、65,536 色をサポートしています。
- 〔SL7〕〔CL7〕〔ML7〕〔CX7〕の場合、OpenGL のハードウェアアクセラレーションは 65536 色のみサポートしています。
- 〔SL7〕〔CL7〕〔CL7s〕〔ML7〕〔CX7〕でマウスカーソルにハードウェアカーソルを使用している場合、カーソルが変形する瞬間に点滅することがあります。動作上問題ありませんので、そのまま使用してください。
- 複数の動画を同時に再生しないでください。表示が乱れる場合があります。

■ ディスクアドミニストレータ

ディスクアドミニストレータがディスクにアクセスできるようにするために、初めてディスクアドミニストレータを起動したとき、ディスクに署名を書き込む必要があります。次の手順で署名を書き込んでください。

1 **「スタート」ボタン→「プログラム」→「管理ツール（共通）」→「ディスクアドミニストレータ」の順にクリックします。**
「ディスクアドミニストレータ」ダイアログボックスが表示されます。

2 **「OK」をクリックします。**
「確認」ダイアログボックスが表示されます。

3 **「はい」をクリックします。**
ディスクに署名が書き込まれ、ディスクアドミニストレータでディスクをアクセスできるようになります。

■ Windows NT 4.0 Service Pack6a に関する留意事項

- Windows NT 4.0 Service Pack6a をインストールした環境に新しいコンポーネントをインストールすると、正常に動作しない場合があります。
  これは、追加したコンポーネントのファイルが、Service Pack6a のコンポーネントのファイルと異なる場合があるためです。たとえば、Service Pack6a をインストール後、ネットワークを組み込んだときに、サーバサービスが正常に動作しなくなる現象が確認されています。原因は、「C:¥Support¥I386」からインストールされたネットワークモジュールが、Service Pack6a のネットワークモジュールと異なるためです。このような場合は、再度 Service Pack6a をインストールする必要があります。
- ネットワークがインストールされていない環境に Service Pack6a をインストールしたあと、フォントやマルチメディアドライバなどを追加する際に「参照」をクリックすると、Windows NT がインストールされているドライブしか表示されない場合があります。
  インストール元がフロッピーディスクまたは CD-ROM の場合は Windows NT がインストールされているドライブに適当なフォルダを作成し、このフォルダにインストールするドライバやファイルをあらかじめコピーしてからインストールしてください。
  なお、「マルチメディア」の「ドライバのインストール」では、フルパスを入力してインストールすることもできます。
- Windows NT 4.0 Service Pack6a をアンインストールする場合は、必ず動作中のアプリケーション、および VirusScan を終了させてください。
- シャットダウン時またはログオフ時、次のエラーメッセージが表示されることがありますが、動作に問題はありません。
  「ウィンドウステーションがシャットダウン中であるためアプリケーションが初期化に失敗しました。」
  このメッセージが表示されたあとにログオンすると、日本語入力システムとして MS-IME97 を使用している場合、下記の現象が起きることがあります。なお、文字入力は正常に行えます。
  ・MS-IME97 のツールバーを「タスクバーに入れる」に設定していると、「日本語入力インジケータ」が表示されなくなることがあります。
  「日本語入力インジケータ」を表示させるには、MS-IME97 を再度オンにしてください。
  ・MS-IME97 のツールバーを「ドッキング可能」に設定していても、ドッキング機能が有効にならないことがあります。
- 「画面のプロパティ」の「スクリーンセーバー」タブで、スクリーンセーバーとして「チャンネルスクリーンセーバー」を指定しないでください。アプリケーションエラーが発生します。
- ソフトウェアを使用するときに、次のようなメッセージが表示される場合があります。
  パフォーマンスモニタ：perfmon.exe -DLL が見つかりません。
  ダイナミック リンク ライブラリ snmpapi.dll が指定されたパス
  C:¥WINNT¥system32;.;C:¥WINNT¥system32;C:¥WINNT¥system;
  C:¥WINNT;C:¥WINNT¥system32;C:¥WINNT に見つかりません。
  この場合、次の方法で回避できます。
  ・ネットワークプロトコルに「TCP/IP プロトコル」を追加する。
  ・Windows NT Service Pack6a を再インストールする（••▶ P.42）。

● イベントビューアにエラーが登録される場合について
本ワークステーションへのログオン時、「イベントビューア」に次のエラーが登録される場合があります。この場合、下記に記載してあるいずれかの方法にて回避してください。

イベント ID：7001
ソース：　Service Contol Maneger
種類：　エラー
説明：　Protected Storage サービスは次のエラーのために開始できなかった Remote ProcedureCall (RPC) Service サービスに依存します :
サービスは開始後に開始待ち状態でハングしました。

イベント ID：7022
ソース：　Service Contol Maneger
種類：　エラー
説明：　Remote Procedure Call (RPC) Service サービスは開始時にハングしました。

回避方法：

・1. IPX プロトコルを削除する。
IPX プロトコルを使用していない場合は、次の手順に従い IPX プロトコルを削除します。
1.「ネットワークコンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。「ネットワーク」ダイアログボックスが表示されます。
2.「プロトコル」タブをクリックし、「ネットワークプロトコル」から「NWLink IPX/SPX 互換トランスポート」を選択し、「削除」ボタンをクリックします。
3.「はい」をクリックします。

・2. TCP/IP プロトコルをインストールし、TCP/IP プロトコルを使用する。

・3. DCOMCNFG の既定のプロトコルタブで NetBEUI の優先順位を上げる。
1.「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
2.「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
```
dcomcnfg
```
「分散 COM の構成のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
3.「既定のプロトコル」タブを選択し、「DCOM プロトコル」から「Connection-oriented NetBEUI」を選択します。
4.「Connection-oriented NetBEUI」が「Datagram IPX」より上に表示されるまで「上へ」をクリックします。
5.「OK」をクリックします。

■ Internet Explorer 5.01 の留意事項

「スタート」ボタン→「設定」→「タスクバー」の順にクリックし、「スタートメニューの設定」タブから削除を行うとエラーが発生します。
削除するときは、「スタート」ボタンを右クリックして「開く」をクリックし、スタートメニューのプログラムから該当する項目を削除してください。

■ ダイヤルアップ接続設定後に発生する問題

Internet Explorer 起動時に、インターネット接続ウィザードのセットアップオプションで「新しいインターネットアカウントにサインアップします（電話回線はモデムに接続されています）」を選択してダイヤルアップ設定を行うと、Windows 起動時に次のエラーメッセージが表示されることがあります。

「1 つ以上のサービスまたはドライバがシステム起動時にエラーになりました。
詳しくはイベントビューアを使用してイベントログを確認してください。」

このときイベントログに「システム接続されたデバイスが機能していません。」という内容のエラーが記録されます。

このエラーメッセージを表示させないようにするためには、Windows NT Service Pack6a を再インストールしてください。

■ Windows NT での省電力モード

Windows NT では、省電力モードをサポートしていません。

ただし、BIOS の省電力を設定することで、ディスプレイおよび、ハードディスクの省電力機能を使用することができます。設定の方法は、ハードウェアガイドの BIOS セットアップをご覧ください。

■ ビデオ CD をお使いになる場合

本パソコンでビデオ CD をお使いになる場合は、媒体（ビデオ CD など）をセットしていない状態で本パソコンを起動後、ビデオ CD をセットして再生してください。

■ 光磁気ディスクドライブ増設時の留意事項

光磁気ディスクドライブを増設した場合は、「MO ディスクフォーマッタ」でドライブの割り当てを行ってください。「MO ディスクフォーマッタ」については、「ドライバーズ CD」内の「¥Nt40¥Moformat¥Readme.txt」をご覧ください。

■ スーパーフロッピー形式の光磁気ディスク

SCSI カードなどに添付されているフォーマッタを使用して、光磁気ディスクをスーパーフロッピー形式でフォーマットした場合、Windows で認識できないことがあります。光磁気ディスクをスーパーフロッピー形式でフォーマットする場合は、「MO ディスクフォーマッタ」を使用してください（••▶ P.49）。

■ ネットワーク使用時の留意事項

- 次の LAN デバイスを複数使用したネットワーク運用は行えません。
  ・2 枚の LAN カード
  ・パソコン本体の内蔵 LAN デバイスと LAN カード
- ご使用の環境によっては、LAN ドライバの設定を行う必要があります。LAN ドライバの設定方法については、「ドライバーズ CD」内の以下のファイルをご覧ください。
  「¥Nt40¥Intellan2¥Readme.txt」〔TX7〕
  「¥Nt40¥Intellan1¥Readme.txt」〔SL7e〕〔SL7〕〔CL7〕〔CX7〕
  「¥Nt40¥rtlan¥Readme.txt」〔CL7s〕〔ML7〕

■ LAN 着信によるレジューム（Wakeup On LAN ）機能の留意事項〔CL7s〕〔ML7〕

ローカルアドレス運用時、シャットダウンからの復帰は行えません。

■ プリンタ関連の留意事項

□ FMLBP シリーズ、FMPR シリーズをお使いの場合

デバイスフォントの白色を使用した場合、印刷結果が画面と異なる場合があります。白色で印刷する場合は、デバイスフォント以外で印刷してください。

□ FMLBP225PS、FMLBP211PS をお使いの場合

- 「ドキュメント」ダイアログボックスの「ドキュメントのオプション」内の「プリンタの機能」にある「標準に戻す」は機能しません（クリックしても、変更前の設定状態には戻りません）。
- 「ドキュメント」ダイアログボックスの「ハーフトーンカラーの調整」で「明るさ」や「コントラスト」などを調整しても、印刷には反映されません。
- 用紙の種類を「A4 横」のような「××横」に設定しても、正しく印刷できません。このようなデータを印刷する場合は、用紙の種類で「A4」、印刷の向きを「横」のようにして印刷してください。

□ 任意の用紙サイズを設定する場合

富士通 FM シリーズ用シリアルプリンタでフォームを使用する場合、使用できるフォームのサイズはそれぞれのドライバによって次の範囲となっています。この範囲外のものは使用できません。なお、下記のシリアルプリンタのすべてについて動作を保証するものではありません。

- 用紙サイズの設定
  プリンタの「ファイル」メニュー→「サーバのプロパティ」の順にクリックし、「用紙」タブの「新しい用紙を作成する」をチェックして作成します。任意の用紙サイズを設定できます。
  詳細については、Windows NT のマニュアルおよびオンラインヘルプをご覧ください。
  幅：50 ～ 345.4mm（1.79 ～ 13.6 インチ）高さ：50 ～ 420.0mm（1.79 ～ 16.5 インチ）のドライバ
  （136 桁プリンタ）

「FUJITSU FMPR 180」
「FUJITSU FMPR 180 (Color)」
「FUJITSU FMPR-353G2」
「FUJITSU FMPR-353A2」
「FUJITSU FMPR-361」
「FUJITSU FMPR-372」
「FUJITSU FMPR-671」
「FUJITSU FMPR-654」
「FUJITSU FMPR-359F1」
「FUJITSU FMPR-455」
「FUJITSU FMPR-456」
「FUJITSU FMPR-371A」
「FUJITSU FMPR-374」
「FUJITSU FMPR-366 (Monochrome)」
「FUJITSU FMPR-373 (Color)」
「FUJITSU FMPR-366 (Color)」
「FUJITSU FMLP-351」
「FUJITSU FMPR-373 (Monochrome)」
「FUJITSU FMPR-672」

幅 : 50 ～ 203.2mm（1.79 ～ 8 インチ）高さ : 50 ～ 420.0mm（1.79 ～ 16.5 インチ）のドライバ（80 桁プリンタ）

「FUJITSU FMPR-302G2」　「FUJITSU FMPR-302A2」
「FUJITSU FMPR-204B」　「FUJITSU FMPR-204W」
「FUJITSU FMPR-101W」　「FUJITSU FMPR-101B」
「FUJITSU FMPR-102G」　「FUJITSU FMPR-601」
「FUJITSU FMPR-303G」　「FUJITSU FMJP-101G」
「FUJITSU FMPR-221G」

幅 : 50 ～ 420.0mm（1.79 ～ 16.5 インチ）高さ : 50 ～ 420.0mm（1.79 ～ 16.5 インチ）のドライバ（136 桁プリンタ）

「FUJITSU FMPR 360」　「FUJITSU FMPR 360 (Color)」
「FUJITSU FMJP-211」

幅 : 25.4 ～ 345.4mm（1 ～ 13.6 インチ）高さ : 25.4 ～ 558.8mm（1 ～ 22 インチ）のドライバ（ESC/P シーケンス）

「FUJITSU ESC/P」　「FUJITSU FMPR-375E」
「FUJITSU FMLP-371E」　「FUJITSU FMP-PR121G」

■ キーボード関連の留意事項

□ 親指シフトキーボード

- 親指シフトキーボード特有のキー（「～」、「『」、「』」、「£」など）は、これらの文字の出力をサポートしたかな漢字モジュールを使用しなければ入力できません。
- IME 起動時に数字、記号キーを押すと、IME の入力モードが英数に変わります。一度【カタカナ／ひらがな】キーを押してください。
- Windows 上で動作する MS-DOS アプリケーションでは、親指シフトキーボードでの日本語入力はできません。

□ 起動時のキーボード入力

Windows 起動時にキーボードから入力を行うと、イベントビューアに「ソース : i8042prt/ イベント ID : 19」のエラーが記載されることがあります。しかし、本パソコンを使用するうえで問題はありません。

■ PC カード〔CX7〕

PC カードは、パソコン本体の電源を入れる前にセットしてください。
PC カードをお使いになる場合は、ドライバのインストールが必要になることがあります。
ドライバのインストール方法などの詳細は、PC カードに添付のマニュアルをご覧ください。

□ CardBus 対応の PC カード

Windows NT 4.0 では、CardBus 対応の PC カードは使用できません。

■ CD-ROM の取り出し

CD-ROM ドライブの EJECT ボタンを押しても、CD-ROM が取り出せないことがあります。その場合は、次の手順で CD-ROM を取り出してください。

1 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。

2 CD-ROM ドライブのアイコンを右クリックし、「取り出し」をクリックします。

■ FM Advisor の CPU 情報表示

FM Advisor の「CPU 情報」の表示において、CPU 名・CPU クロックが正しく表示されない場合があります。あらかじめご了承ください。

■ 日本語入力システムが 2 つ以上組み込まれている場合

MS-IME97 以外の日本語入力システムが組み込まれている場合、一度ログオフしてから再度ログオンすると、画面に日本語入力システムのツールバーが 2 つ表示されることがあります。標準に設定されていない日本語入力システム（【漢字】キーを押しても、アクティブにならない）を操作しなければ問題ありませんが、操作を行った場合、画面上にウィンドウの跡が残ることがあります。この場合は、Windows を再起動してください。

■ OAK V8 ／ Japanist をお使いの場合

OAK V8、OASYS V8、Japanist を追加インストールした場合、管理者権限を持ったユーザーアカウント以外で初めてログオンすると、ダイアログボックスが表示されます。この場合は使用する状況に応じて選択し、「OK」をクリックしてください。

索引

記号

3 モードフロッピーディスクドライバの
インストール 41

A

Acrobat Reader 14, 55
　ーのインストール 43

C

CardBus 対応の PC カード 61
CD-ROM ドライブ 16
CD-ROM の取り出し 62

D

DeskView 15
　ーのインストール 19
DirectCD 14
DMA の設定 17

E

Easy CD Creator 14

F

Fast Check Monitoring Utility 14
FAT 17
FAT16 29
FM Advisor 14, 46
　ーの CPU 情報表示 62
　ーのインストール 42
FM-Menu 15
　ーのインストール 20
FMPBTN 15
　ーのインストール 19
FMV 診断 14, 46
　ーのインストール 43

I

Internet Explorer 5.01 14
　ーのインストール 42

L

LAN ドライバのインストール 40

M

MODEL 52
MO ディスクフォーマッタ 14, 49
MS-IME97 14
MS-IME98 15
　ーのインストール 19

N

NTFS 17, 29
NumLock 49

P

Packet Protect 15
　ーのインストール 20
PC カード 61

R

RAID コントローラ 16
RAID ドライバのインストール 40
RAID ユーティリティの
インストール 43

S

SCSI 16
　ードライバのインストール 40

V

VirusScan 15, 24
　ーのインストール 19

W

Windows NT 14
　ー Service Pack6a の
　　インストール 42
　ー Service Pack6a の留意事項 57
　ーセットアップ 8
Windows 環境調査ツール
（FM Advisor） 14, 46
　ーのインストール 42

あ行

アンインストール 21
色数 26
親指シフトキーボード 61
　ーを使用する 49

か行

解像度 26
カスタムメイド型番 52
画面の設定 26
キーボード 16
　ーの留意事項 61
機種名 52
コンピュータウイルス 24
　ーの被害届け 25
　ーを発見した場合 25

さ行

サウンド 16
　ードライバのインストール 40
自動ログオン 50
使用許諾契約 9
省電力モード 59
情報サービス 52
シリアルケーブル接続 50
スーパーフロッピー形式の
光磁気ディスク 59

た行

ダイヤルアップ接続 59
他の OS 55
ディスクアドミニストレータ 56
ディスプレイ 16
　ードライバのインストール 40
電源切断用 HAL 14
添付ソフト 15
ドライブ構成 17
トラブルシューティング 46

な行

ネットワーク
　ーアダプタ 16
　ー使用時の留意事項 59

は行

はじめよう！インターネット
（@nifty） 15
　ーのインストール 20
パスワード 50
光磁気ディスク 49
　ードライバのインストール 41
　ードライブをスーパーフロッピー
　　形式で使用する 49
ビデオ CD 59
ファイルシステムの変換 29
プリンタ
　ーの追加方法 48
　ーの留意事項 60
プレインストールソフト 14
フロッピーディスク 16

ま行

モデムの追加方法 48

ら行

リカバリ 32
連絡先 52

Memo

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本パソコンにインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただいております。
なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権
   お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本パソコンでのみ使用できます。なお、お客様は本パソコンのご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
2. バックアップ
   お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1 部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。
3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み
   本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
4. 複製
   (1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。
   本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。
   ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
   (2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。
5. 第三者への譲渡
   お客様が本ソフトウェア（本パソコンに添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本パソコンに添付されている媒体を本パソコンとは別に第三者へ譲渡することはできません。
6. 改造等
   お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
7. 保証の範囲
   (1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本パソコンをご購入いただいた日から 90 日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。
   また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本パソコンをご購入いただいた日から1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
   (2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
   (3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
8. ハイセイフティ
   本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

   記

   原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

マイクロソフト製品サービスパック

Microsoft® Windows® をご利用のお客様がより安定したシステムを運用していく上で、マイクロソフト社はサービスパックを提供しております（http://www.microsoft.com/japan/）。
お客様は、最新のサービスパックをご利用いただくことにより、その時点でマイクロソフト社が提供する Microsoft® Windows® にて最も安定したシステムを構築できます。
したがいまして、当社としては、最新のサービスパックをご利用いただくことを基本的には推奨いたします。
ただし、お客様の環境によっては、サービスパック適用により予期せぬ不具合が発生する場合もありますので、ご利用前にはサービスパックの Readme.txt を必ずご確認ください。
また、万一、インストールに失敗したことを考慮し、システムのバックアップを取ることを推奨いたします。

FMV-717GTX7

FMV-611GSL7e/610GSL7e/610GSL7/6866SL7/6766SL7c

FMV-610GCL7/6866CL7/6766CL7c/6570CL7s

FMV-6766ML7c

FMV-6866CX7/6766CX7c

WindowsNT® 4.0 モデル
ソフトウェアガイド
B5FH-2811-01-00

発 行 日　2001 年 4 月
発行責任　富士通株式会社

●本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
●本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
●無断転載を禁じます。